

UNIX mbox (メールボックス) 形式とは何ですか。

目次

[はじめに](#)

[UNIX mbox \(メールボックス \) 形式とは何ですか。](#)

概要

この資料は Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) で使用するためにどのように関連しているか Unix メールボックス (mbox) 形式を記述したものです。

UNIX mbox (メールボックス) 形式とは何ですか。

UNIX mbox 形式は AsyncOS によってメッセージがアーカイブされる使用され、メッセージ ファイルター log() 操作をログオンしましたとき。「アーカイブ メッセージ」は Ironport Anit スпам (IPAS)、アンチウイルス (Sophos および McAfee)、Advanced Malware Protection (アンペア)、および ESA の Graymail のための追加設定 オプションです。

Mbox 形式はゼロ場合があるまたはより多くのメール メッセージが含まれているです ASCII フォーマットされた (すなわち、バイナリ) ファイルフォーマット。メッセージは mbox ファイル内で連結され、ファイル内の特定の文字列に基づいて分けられます。このフォーマットはそれらが RFC 2821 対応メールゲートウェイの間で転送されるのでメッセージと同一です。

mbox 形式の各メッセージは「」ストリングから開始する行から始まります (ASCII 文字 F、r、o、m および領域)。「From」行の後に、エンベロープ送信側、日付および (オプションで) より多くのデータ。

「From」文字列の後の最初のフィールドは、メッセージのエンベロープ送信者です。アプリケーションが mbox ファイルを作成する依存は、エンベロープ送信側実質メールボックスかそれが別の文字またはストリングであるかかもしれませんようにいるかかもしれません。最も一般に、ことが「分ります-実際のエンベロープ送信側が利用できる既知ではないかどうか」(単一文字ダッシュ) エンベロープ送信側を取り替えます。ESA によって挿入されるデータ フィールドは、UNIX 標準の asctime() 形式で、常に 24 文字の長さです。非 AsyncOS 実装によって書かれているいくつかの mbox ファイルではより詳しい情報は日付印に続きます。これらの 3 つのフィールドは単一のスペースで区切られません。

単一のメッセージを含む mbox ファイルの例を次に示します。

```
From Adam@Outside.COM Sun Oct 17 12:03:20 2004
Received: from mail.outside.com (192.35.195.200)
by smtp.alpha.com with ESMTP; 17 Oct 2004 12:03:20 -0700
X-IronPort-AV: i="3.85,147,1094454000";
v="EICAR-AV-Test'0'v";
d="scan'208"; a="86:adNrHT37924848"
X-IronPort-RCPT-TO: alan@mail.example.com
From: Adam@Outside.COM
```

To: Alan Alpha <Alan@mail.example.COM>
Subject: Exercise 7a Anti-Virus Scanning
Reply-To: Adam Alpha <adam@outside.com>
Date: Sun, 17 Oct 2004 12:02:39 -0700
MIME-version: 1.0
Content-type: multipart/mixed; boundary="IronPort"

--IronPort
Content-type: text/plain; format=flowed; charset=us-ascii
Content-transfer-encoding: 7bit

Blah blah blah blah blah
Blah blah blah blah blah
Blah blah blah blah blah

...
--IronPort
Content-type: text/plain
Content-transfer-encoding: 7bit
Content-disposition: inline

X50!P%@AP[4\PZX54(P^)7CC)7}\$EICAR-STANDARD-ANTIVIRUS-TEST-
FILE!\$H+H*">X50!P%@AP[4\PZX54(P^)7CC)7}\$EICAR-STANDARD-ANTIVIRUS-TEST-FILE!\$H+H*

--IronPort--

mbox フォーマットされたファイルが解析されるとき、メッセージを分ける行からの「にたくさん
さんのセマンティクスを読込まないことは好ましいです。多くの異なったユーティリティが
mbox ファイルを書くので、これらの行にかなり変化があります。ただし、行「から」と同時に
確実に新しいメッセージは mbox ファイルで開始したことを示すのにメッセージ区切り記号行が
常に使用することができます。すべてでは、一般にそれらを解析すること非常に困難にするメ
ッセージ区切り記号からの「の後にストリングのための約 20 の既知形式があります。

」ラインから「RFC 2822 フォーマットの電子メールメッセージがだった後追加メッセージ ボディ
内容に先行しているブランク行に先行させて一連のメッセージ ボディ ヘッダが。

メッセージがきちんと分かれるようにするために、「」ストリングから始めなさい行は単一によ
って「>」常に付加されます。「>From から」別様に始まる mbox ファイル ハンドル行のさまざ
まな異なるバリエーション。 mbox ファイルを書き込むアプリケーションの初期の実装では、これら
の行自体は記載されませんでした。 AsyncOS のログ ファイルでは、1 つ以上の「>」文字の後に
「From」が続く文字列で始まる行の先頭に、常に「>」が付加されるようになります。

それで「」開始ストリング、「>From」および「>>>>From」が含まれなさい行があったメッセー
ジが含まれている mbox ファイルの例はここにあります:

```
From jtrumbo@example1.com Sun Dec 12 12:27:33 2004
X-IronPort-RCPT-TO: trumbo@example1.com
From: jtrumbo@example1.com
To: trumbo@example2.com
Subject: Quote this, if you dare
Date: Sun, 12 Dec 2004 12:28:00 -0700
```

The following line is just From
>From A From Line

The following line has quoted >From
>>From A >From Line

The following line has many >>>>From
>>>>From This line has 4 > characters before From

And this is the last line

従来、mbox 形式ファイルのメッセージの最後は空白行で示されます。ただし、空白行が必ず使用されるわけではありません (AsyncOS では配置されます)。mbox 形式ファイルが解析される時、1 つがある場合新しいメッセージの開始によって (ブランク 行を削除して下さい) またはファイルの終りまでにメッセージの終わりに信号を送る必要があります。

mbox 形式の別のバリエーションでは、メッセージ ヘッダー内の「Content-Length」フィールドにメッセージの長さを示す必要がありました。この形式では、引用符付きの「From」行は使用されませんでした。AsyncOS ではこの形式を使用せず、「Content-Length」フィールドも挿入しません。